



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 オルガノ株式会社  
コード番号 6368 URL <http://www.organo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鯉江 泰行

問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 安藤 実

TEL 03-5635-5111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	50,125	1.9	634	44.9	733	28.2	322	29.3
29年3月期第3四半期	51,085	1.7	1,150	194.1	1,020	222.1	455	604.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 635百万円 (334.9%) 29年3月期第3四半期 146百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	27.98	
29年3月期第3四半期	39.56	

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	91,050	49,015	53.7
29年3月期	95,405	49,034	51.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 48,879百万円 29年3月期 48,903百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		5.00		6.00	11.00
30年3月期		5.00			
30年3月期(予想)				25.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期期末配当の内訳 普通配当 5円00銭 創立70周年記念配当 1円00銭

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円となり、1株当たり年間配当金は10円となります。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	3.8	3,050	25.9	2,950	29.1	2,000	26.8	173.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	11,589,925 株	29年3月期	11,589,925 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	78,937 株	29年3月期	75,780 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	11,512,670 株	29年3月期3Q	11,515,747 株

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第72回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 5円00銭(注1)

2. 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 34円74銭

(注1) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注2) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は10円となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、先進国・新興国ともに世界経済全体で持ち直しの動きが広がる中、好調な米国の景気や半導体等の世界的な需要拡大などを背景に輸出の増加が続いており、これを受けて企業の生産活動や設備投資も堅調に推移するなど回復基調が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、電力・上下水分野及び一般産業分野において、国内での設備投資は底堅く推移しているものの、東南アジア地域では日系企業の設備投資の伸びに勢いを欠く状況が続いております。一方、電子産業分野においては国内及び中国で半導体関連の大規模な設備投資計画が続いており、やや一服感のあった台湾でも大型の設備投資計画が立ち上がるなど活発な状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、平成31年度を見据えた計画では、当社グループが強みを有する「電子」「電力」産業分野及び水処理薬品や標準型水処理機器等の「機能商品事業」の更なる強化を中心とした戦略の実行に加え、これまで水処理分野で培ってきた技術と経験を活かし、水以外の液体、さらにはガスの分離・精製など新たな事業分野への展開を検討しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は受注高65,608百万円（前年同期比17.0%増）、売上高50,125百万円（同1.9%減）、営業利益634百万円（同44.9%減）、経常利益733百万円（同28.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益322百万円（同29.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [水処理エンジニアリング事業]

当事業の受注高につきましては、電力・上下水分野及び一般産業分野がほぼ前年並の水準で推移する一方、国内及び中国で半導体関連の大型案件の受注が続き、台湾でも液晶パネル関連の大型案件の受注に成功するなど、電子産業分野が好調に推移した結果、受注高52,580百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

売上高につきましては、好調な受注環境を背景に国内及び中国において電子産業分野の売上が拡大いたしました。一部半導体などの投資計画に遅れが見られた台湾、前期に大型案件の売上があった国内及び東南アジアでの一般産業分野の売上が減少した結果、売上高37,397百万円（同3.7%減）となりました。

利益面につきましては、売上高の減少による影響に加え、将来を見据えた研究開発投資の拡大や営業・技術・管理体制の強化などによって販売費及び一般管理費が増加し、営業損失534百万円（前年同期は営業損失120百万円）となりました。

#### [機能商品事業]

当事業におきましては、新たに卓上型の純水・超純水製造装置αシリーズを開発・上市した標準型水処理機器分野や排水処理向けの薬剤や電子産業向けの水処理薬剤などが好調に推移した水処理薬品分野での受注・売上が伸長し、受注高13,028百万円（前年同期比5.5%増）、売上高12,728百万円（同3.9%増）となりました。一方利益面につきましては、売上の拡大によって売上総利益は増加したものの、研究開発投資など販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益1,168百万円（同8.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4,355百万円減少し、91,050百万円となりました。これは主に仕掛品を中心としたたな卸資産3,926百万円の増加に対し、受取手形及び売掛金6,267百万円、現金及び預金2,570百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4,336百万円減少し、42,035百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金3,217百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ19百万円減少し、49,015百万円となりました。これは主に退職給付に係る調整累計額を中心としたその他包括利益累計額295百万円の増加に対し、配当金の支払等に伴う利益剰余金311百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年10月27日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想から変更はありません。なお、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,340	8,769
受取手形及び売掛金	32,958	26,691
リース投資資産	16,835	15,573
商品及び製品	4,237	4,455
仕掛品	1,613	5,198
原材料及び貯蔵品	1,185	1,308
繰延税金資産	619	696
その他	2,033	3,678
貸倒引当金	△218	△213
流動資産合計	70,605	66,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,762	18,102
減価償却累計額	△11,877	△12,150
建物及び構築物（純額）	5,884	5,952
機械装置及び運搬具	5,397	5,592
減価償却累計額	△4,679	△4,792
機械装置及び運搬具（純額）	718	800
土地	12,558	12,556
建設仮勘定	200	12
その他	4,680	4,790
減価償却累計額	△3,965	△4,124
その他（純額）	714	665
有形固定資産合計	20,077	19,986
無形固定資産	1,007	1,109
投資その他の資産		
投資有価証券	1,500	1,714
繰延税金資産	1,763	1,678
その他	500	447
貸倒引当金	△48	△45
投資その他の資産合計	3,715	3,794
固定資産合計	24,800	24,891
資産合計	95,405	91,050

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,308	13,090
短期借入金	14,309	14,896
未払法人税等	842	186
前受金	1,729	2,959
繰延税金負債	4	8
賞与引当金	987	373
製品保証引当金	253	172
工事損失引当金	33	21
その他	3,171	2,421
流動負債合計	37,640	34,130
固定負債		
長期借入金	2,601	1,801
繰延税金負債	12	17
退職給付に係る負債	5,981	5,957
その他	135	128
固定負債合計	8,730	7,904
負債合計	46,371	42,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	34,023	33,712
自己株式	△343	△352
株主資本合計	49,413	49,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	285	355
繰延ヘッジ損益	△6	△1
為替換算調整勘定	△163	△73
退職給付に係る調整累計額	△624	△495
その他の包括利益累計額合計	△509	△214
非支配株主持分	130	135
純資産合計	49,034	49,015
負債純資産合計	95,405	91,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	51,085	50,125
売上原価	39,500	38,357
売上総利益	11,584	11,767
販売費及び一般管理費	10,433	11,133
営業利益	1,150	634
営業外収益		
受取利息	6	15
受取配当金	20	22
為替差益	-	17
持分法による投資利益	40	103
その他	29	31
営業外収益合計	97	190
営業外費用		
支払利息	55	51
為替差損	80	-
貸倒引当金繰入額	80	31
その他	10	7
営業外費用合計	227	90
経常利益	1,020	733
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産廃棄損	4	4
投資有価証券売却損	1	-
投資有価証券評価損	149	-
施設利用権評価損	2	1
特別損失合計	157	6
税金等調整前四半期純利益	863	728
法人税等	390	382
四半期純利益	473	345
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	455	322



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	473	345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	68
繰延ヘッジ損益	0	5
為替換算調整勘定	△544	84
退職給付に係る調整額	125	129
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	△327	289
四半期包括利益	146	635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140	617
非支配株主に係る四半期包括利益	5	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額  (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	38,838	12,246	51,085	51,085
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	38,838	12,246	51,085	51,085
セグメント利益又は損失(△)	△120	1,270	1,150	1,150

(注) セグメント利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額  (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	37,397	12,728	50,125	50,125
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	37,397	12,728	50,125	50,125
セグメント利益又は損失(△)	△534	1,168	634	634

(注) セグメント利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。